

次世代リーダー育成事業

事業企画スペシャリスト養成講座2025

「いのち輝く Beyond SDGs KANSAI ～ 大阪・関西万博後に向けて」

企画書

会場:世界文化遺産 京都 醍醐寺 / 大阪大学中之島センター

主催:一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構

後援:一般社団法人関西経済同友会

次世代リーダー育成事業 事業企画スペシャリスト養成講座2025

「いのち輝く Beyond SDGs KANSAI ～ 大阪・関西万博後に向けて」

持続可能性への意識の高まり、多様性やガバナンスなど新たな社会規範の登場、戦後の平和を支え続けた国際レジームの綻びなど、いま社会のパラダイムが大きく変化しはじめています。こうした中で新たな未来を切り拓いていくためには、過去に学び未来を予測する思考力と、他者に共感を与え行動を促す表現力を備えた「企画力」が重要となります。

大阪・関西万博をSDGs + beyondへの飛躍の機会にし、事業企画のスペシャリストとして社会を動かすことのできる若手人材を育成するために、これまで3回にわたり開催した本講座の4回目となる「事業企画スペシャリスト養成講座2025」を開講いたします。

塾長

8月25日(月)



石川 勝 プランナー / シンク・コミュニケーションズ 代表 / 大阪・開催万博 会場運営プロデューサー

1963年札幌市生まれ。プランナーとして、イベントプロモーション、文化・商業施設開発、コミュニケーションデザイン分野で実績を積み、2004年株式会社シンク・コミュニケーションズ設立。博覧会や展示会を数多く手掛け、2005年愛知万博ではチーフプロデューサー補佐として基本計画策定に従事、ロボットプロジェクト、愛・地球広場、極小IC入場券をプロデュースした。ロボット分野、コンテンツ技術分野に専門性を持ち、2006年から2016年までの10年間、東京大学IRT研究機構プロジェクトマネージャー・IRTコンテンツ部門長。「先端融合領域イノベーション創出拠点（少子高齢社会と人を支えるIRT基盤の創出）」などの産学連携事業を推進。経済産業省「今年のロボット大賞」事務局長(2006-2008)、「技術戦略マップ（コンテンツ分野）」委員（2008-2015）、「上海万博 日本政府館ロボット出展事業」実行委員長(2010)、「デジタルコンテンツEXPO」エグゼクティブプロデューサー(2008-2017)、「あいちロボットショーケース」プロデューサー(2019-2020)。

9月17日(水)



河森 正治 アニメーション監督 / メカニックデザイナー / ビジョンクリエイター / 大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー

1960年富山県生まれ。アニメーション監督、企画、原作、脚本、映像・舞台演出、メカデザイン等を手がけるビジョンクリエイター。株式会社サテライト特別顧問、2025年 大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサーに就任。学生だったころから、タカラ(現・タカラトミー)へ出向。全世界で一世風靡した『トランスフォーマー』の主役級ロボット『オプティマスプライム』の初期デザイン、『ダイアクロン』のカーロボットなどを担当するデザインチームに参加し、複数の人気メカデザインを共同で手掛ける。劇場版作品『超時空要塞マクロス 愛・おぼえていますか』(1984)で、23歳にして、監督デビュー。同作品と『バルキリー』は、世界各国でテレビ放映され、リアル感のあるメカと戦闘シーン、アイドル音楽・恋愛要素の入り混じった映像は、ハリウッドを始めとするエンタテインメント業界や多くの子供や若者に、日本発のアニメーションは、クールだ、というインパクトを与えた。その後の『マクロス』シリーズでも、原作、監督、メカデザインなどで、今も創作の中心的役割を担う。

講師

9月26日(金)



瀧洞 伸次 NOT A HOTEL株式会社 代表取締役

1983年生まれ。宮崎県出身。2007年にアパレルのECサイト制作を担うアラタナを創業し、2015年に株式会社ZOZOへ売却してグループに参画。ZOZOテクノロジーズ取締役を兼任し、2020年3月に退社。同年4月1日、NOT A HOTEL株式会社を設立。世界的な建築家やクリエイターと協業し、デザイン性とIoT技術を融合させた「自宅にも別荘にもホテルにもなる」ハイエンドな住空間を提供している。最小毎年10泊分からの所有権をシェア購入できる仕組みを採用し、オーナーは全国の各拠点を相互に利用可能。創業からわずか4年で累計契約高は421億円を突破。国内10拠点の販売開始・開業を実現。(2025年4月時点)現在は海外展開も本格化している。建築・デザイン・テクノロジーの力で、日本の各地域の潜在価値を最大限に引き出し、その魅力を国内外へ発信している。

10月10日(金)



大崎 洋 一般社団法人 mother ha.ha 代表理事 / 大阪・関西万博催事検討会議 共同座長

1978年吉本興業株式会社(現・吉本興業ホールディングス)に入社。2009年代表取締役社長に就任。2019年に代表取締役会長に就任。2023年6月取締役を退任。2009年3月「沖縄国際映画祭実行委員会」実行委員長に就任。2014年京都国際映画祭を立ち上げ、同年10月「京都国際映画祭実行委員会」委員に就任。2018年2月内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局「わくわく地方生活実現会議」委員に就任。2019年6月内閣府「基地跡地の未来に関する懇談会 委員」に就任。2020年内閣府「知的財産戦略本部 構想委員会 コンテンツ小委員 委員」に就任。2021年9月「鳥取大学医学部附属病院運営諮問会議」委員に就任。2022年4月近畿大学 客員教授を委嘱。2023年3月「全広連日本宣伝賞・正力賞」受賞。2023年5月大阪・関西万博催事検討会議共同座長に就任。2023年6月一般社団法人 mother ha.haを設立し代表理事に就任。2024年6月公益財団法人 国際親善協会 クリエイティブディレクターに就任。

◆これまでの開催風景



第一線で活躍する講師による講義
(石川 勝氏)



第一線で活躍する講師による講義
(落合 陽一氏)



第一線で活躍する講師による講義
(福岡 伸一氏)



第一線で活躍する講師による講義
(宮田 裕章氏)



塾長 石川 勝氏による
ワークショップ



第一線で活躍する講師による講義
(藤本 壮介氏)



第一線で活躍する講師による講義
(石黒 浩氏)



第一線で活躍する講師による講義
(澤田 拓子氏)



第一線で活躍する講師による講義
(小川 理子氏)



講義全景



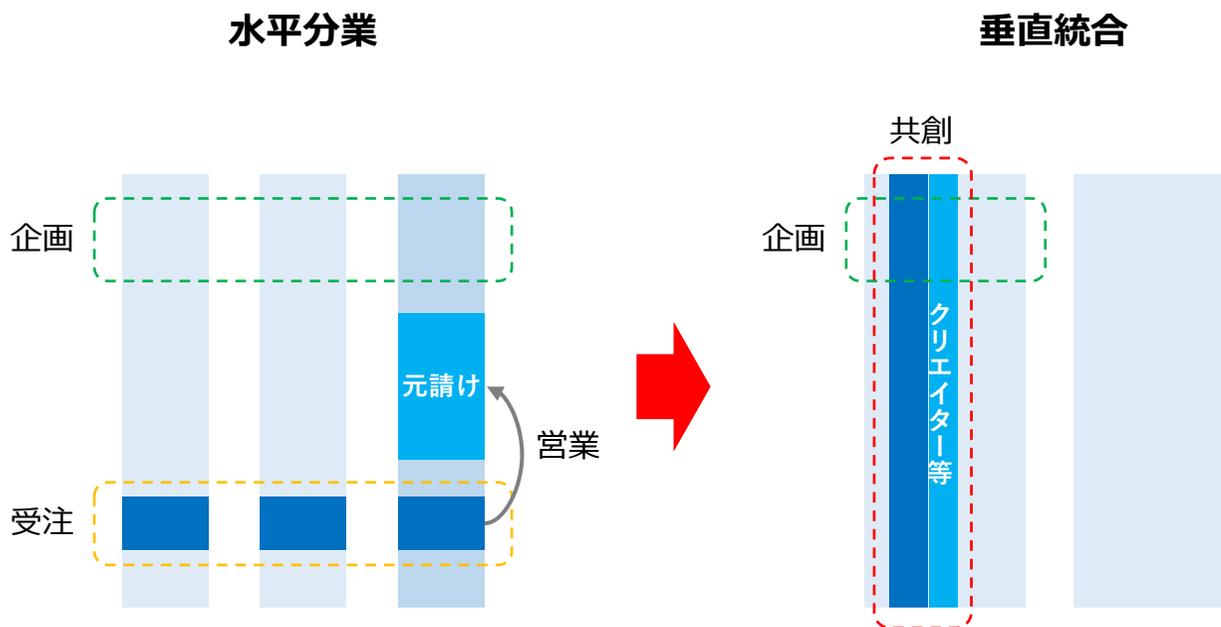
国宝「薬師如来坐像」「薬師三尊像」
御前での修了証授与式



第一線で活躍する講師による講義
(小橋 賢児氏)

社会のパラダイムシフトが進む中、企画力は全てのビジネスで重要となります

かつて、水平分業型のビジネスモデルでは企画は事業の川上で行うものでした。しかし、価値観の多様化、生産性重視、創造性重視などの要因により、多くの産業分野において垂直統合型のビジネスモデルへと変革が始まっています。こうした中では、企画力の高さが競争力の優劣を決する重要な要素となります。



石川勝塾長講演録より

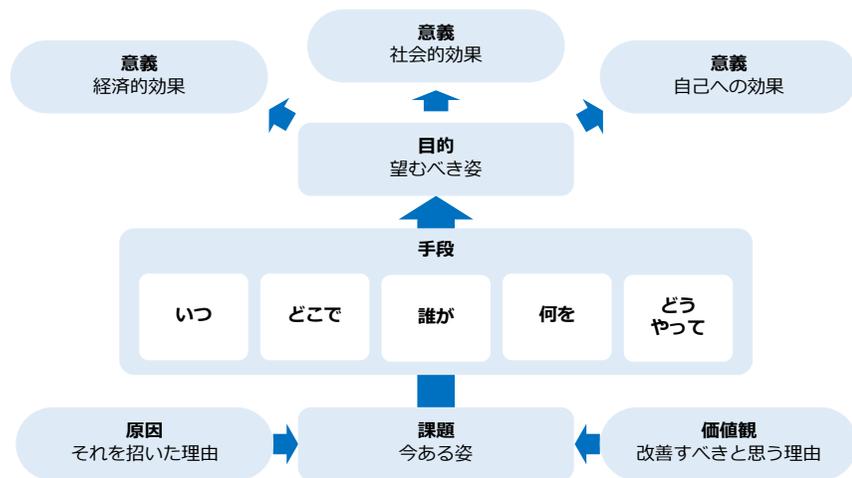
「企画力」とは？

目的と意義を明確化して、 それを実現するための「手段」を構築する力

自分や社会の価値観と照らして改善すべきと思うことがでてきたらそれが「課題」です。課題が見つかり、それをあるべき姿にしたいと思う気持ちが湧いてきます。それが「目的」です。目的が達成されると実現されかもしれない効果、それが「意義」です。

では、目的を達成するためにはどうすれば良いのでしょうか？
いろいろな「手段」を考えるとします。誰かの理解を得るために、あるいは費用や期間を明確にするために、5W1Hを整理し、表現方法を工夫すると思います。これが「企画力」です。

石川勝塾長講演録より



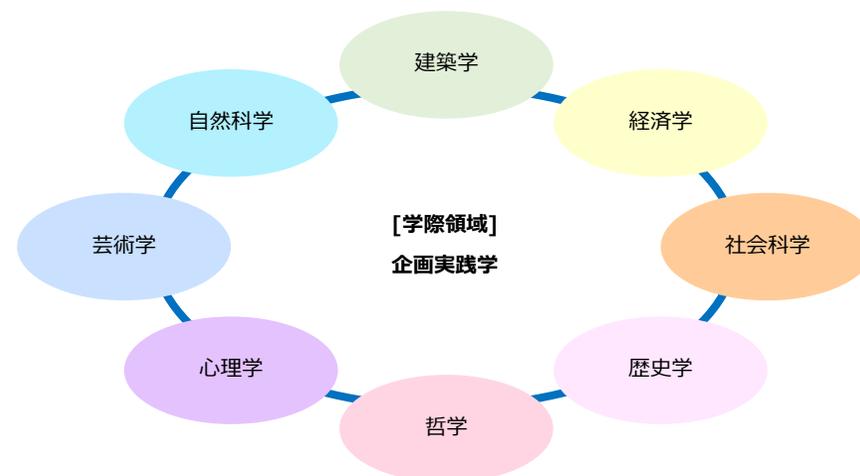
物事を多角的に捉え、 行動を通して「知」を蓄え、活用する力

物事を企画する際は、一つの視点から眺めるだけでは不完全です。関連する分野について一定の専門性を備え、多角的に捉えることが重要です。

同時に、こうした行為は理論だけで行うのでは不完全です。実際に行動して、他者と対話する中で最適解を導くことが重要です。

課題が複雑化する現代社会においては、多彩な学問分野と融合した学際領域として、行動を通して「知」を蓄え、活用する企画実践学を確立し、優れた「企画力」を備えた人材を育成することが重要です。

石川勝塾長講演録より



短期集中、少数精鋭

期間は2ヶ月間、人数は40名です。

少人数で一定期間集中的に取り組むことで、効率的にスキルアップすることができます。

さらに、異分野の塾生と濃密な時間を共有することで、生涯に渡って支え合える仲間を得ることができます。

各界のトップクラスの専門家・経営者から直接学ぶ

企画づくりは知識と創造力と技術が必要です。各界のトップクラスの専門家は深い専門知識に加え、幅広い知見と数多くの経験を積み、企画作りに必要な技術を身につけています。

社会のリーダーとして日々困難な決断を下す経営者は判断の基準となる豊富な知識を備えています。こうした専門家や経営者から直接学ぶことのできる貴重な機会を得ることができます。

学びと実践の両立

知識の習得において座学は重要です。しかし企画づくりは、知識を組み合わせる一つの物語をつくり出す構成力が不可欠です。構成力を習得するためには、実際に企画をつくり、発表し、評価されることが重要です。

本塾においてアイデアソンを通して企画づくりを実践することで、真に役立つ実力を身につけることができます。

◆プログラム構成

学びと実践の両立を実現するために、各回とも午前中は第一線で活躍する講師による講義を行い、午後は塾長の指導のもと塾生自らが事業企画を実践するワークショップを行います。

学び (講義)



- 各回の午前中は、講義による「学び」の場とします。
- 各界のトップクラスの専門家や経営者から、物事を捉える視点や事業企画の発想法などを学びます。
- なかなか接する機会のない著名な講師と少人数でじっくりと対話することのできる貴重な機会となります。



実践 (ワークショップ)



- 各回の午後は、ワークショップによる事業企画の「実践」の場とします。
- 塾生自身が企画を考え、発表し、評価し合うことで、事業企画のスペシャリストに必要なスキルを習得します。
- プランナーとして数多くの実績を持つ塾長から、事業企画の技法やノウハウの指導を直接受けられる貴重な機会となります。



世界文化遺産 京都 醍醐寺

醍醐寺は、874年に弘法大師空海の孫弟子、理源大師聖宝によって開創されました。上醍醐と下醍醐の約200万坪の広大な敷地を有し、京都府内で最古の木造建築の五重塔など国宝75,537点をはじめ仏像、文書、絵画をはじめとする古代、中世以来の貴重な寺宝は約15万点にも及びます。

本坊的な存在の三宝院は、建物の大半が国の重要文化財に指定されており、中でも庭園全体を見渡せる表書院は、桃山時代の寝殿造り様式を伝える建造物として、国宝に指定されています。三宝院庭園は、慶長3年(1598)に豊臣秀吉公が「醍醐の花見」に際して自ら基本設計をした庭であり、今も桃山時代の華やかな雰囲気を与えています。

弘法大師という大師号は、醍醐寺の初代座主である観賢僧正が醍醐天皇に願い出て下賜された諡号（しごう・生前の社会に対して貢献の大きかった方に朝廷より送られるお名前）です。弘法大師は、修行を通して自らの心と体で学んだことを「実修」、学んだで得たことを人々のために活かして行くことを「実証」とあらわし、この二つの修行、即ち“入りて学び、出でて行う”ことを「実修実証」として説かれました。



◆プログラム日程

	8月25日(月)	9月17日(水)	9月26日(金)	10月10日(金)
会場	醍醐寺 (京都)	大阪大学中之島センター	大阪大学中之島センター	大阪大学中之島センター
午前	開塾式・講義 (石川 勝塾長)	講義 (河森 正治先生)	講義 (瀧洞 伸次先生)	講義 (大崎 洋先生)
	アイスブレイク： 参加者同士で自己紹介等を行 い、コミュニケーションしや すい雰囲気づくりを行います。			
	昼食	昼食	昼食	昼食
午後	ワークショップ (ファシリテーター 石川 勝塾長)			
	グループワーク： 参加者を複数のグループに分 け、指定された社会的課題に ついてその原因や改善すべき 理由などの分析を行います。 その結果をグループ単位で 発表します。	企画発表①： グループワークで設定した課 題について、目標を達成する ための手段となる事業企画を 考え発表します。 企画発表は各自が行い、参 加者全員が対話形式で評価 を行います。	企画発表②： 前回に引き続き企画発表を 行います。	企画発表③： 前回に引き続き企画発表を 行います。 総評： ワークショップ全体を通し た総評を塾長より行います。 修了式 (石川 勝塾長) 参加した塾生に修了証を授 与します

スケジュール

2025年 5月 – 7月 協賛企業募集
5月 – 7月 塾生募集
8月下旬 – 10月上旬
次世代リーダー育成事業「事業企画スペシャリスト養成講座」実施
* 次年度以降も継続開催予定

定員

40名

受講費

1名 13万円 (税別)

協賛金

一口 25万円 (税別)

特典：一口あたり、**社員3名様**まで全講義にご参加いただけます。(受講費不要)

宜しければ、夢洲機構公式ホームページ、広報物等に、ご協賛額に応じて**ロゴ・社名を表示**させていただきます。

主催
一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構

後援
一般社団法人関西経済同友会

特別協力
世界文化遺産 京都 醍醐寺



世界文化遺産 京都 醍醐寺 三宝院



大阪大学中之島センター

<お問合せ連絡先>

一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構

事務局：株式会社健康都市デザイン研究所

〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル 8F

TEL : 06-6136-8803 / E-mail : office@yumeshimakikou.com